

領域公開シンポジウム「多世代による地域資源のつなぎなおしと文化多様性：
SDGsの実現に向けて」2018年3月2日

地域の幸福の多面的側面の測定と 持続可能な多世代共創社会に向けての 実践的フィードバック



京都大学こころの未来研究センター
内田 由紀子



京都大学 KOKORO RESEARCH CENTER • KYOTO UNIVERSITY
こころの未来研究センター

KOKORO
RESEARCH
CENTER
KYOTO UNIVERSITY



JST RISTEX 持続可能な多世代共創社会のデザイン

「地域の幸福の多面的側面の測定と持続可能な多世代共創社会に向けての実践的フィードバック」

共同研究者:

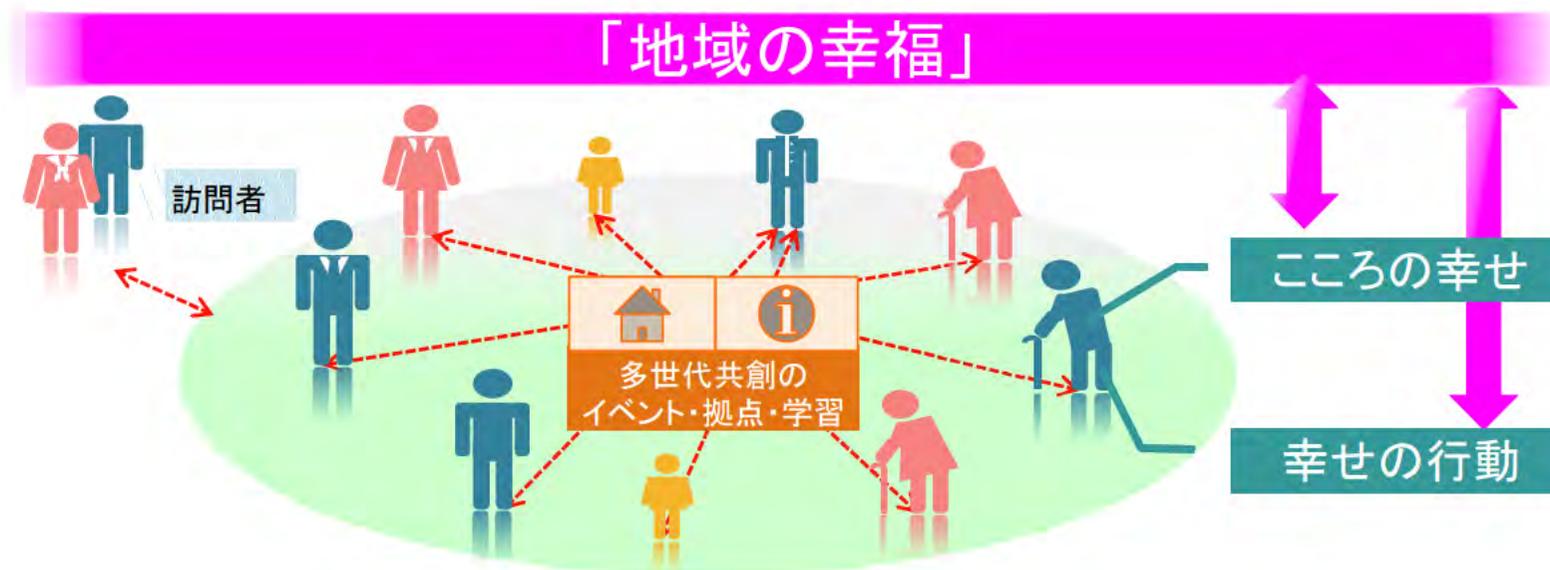
竹村幸祐(滋賀大学):集落サンプリング調査代表者

小森政嗣(大阪電気通信大学):行動調査代表者

伊勢武史(京都大学):生活環境調査代表者

一言英文(福岡大学)・福島慎太郎(青山学院大学)

清家理・吉川左紀子・金子祥恵・箕浦有希久・飯田梨乃・打田篤彦(京都大学)



プロジェクトの目標

- 1) 地域社会レベルで生じる幸福にまつわる諸側面を測定する主観指標の開発、汎用化
- 2) 多世代交流の効果の検証
- 3) 開放的コミュニティのあり方など、地域のつながり(社会関係資本)の要素分析と地域の幸福の諸側面との関係性の分析

- 幸せは、自分の心の中の問題
- 外から「幸せだ」あるいは「不幸せだ」と決めつけられたりするものではない
- ましてや個人の幸せを「統計」や数値でとやかく言うことはできるのか？

1. 幸福の意味は一律ではない

→それぞれの国・地域での「幸せ」のあり方を考える必要がある

2. 住民の「幸せ」が何かを考え、政策的意思決定に活かしていくことは、地域ビジョンの策定と共有において重要

→測定はランキングのためではなく要因を検討し変化を予測するため

3. 地域の幸福ビジョン作成・共有のためには綿密な「分析」が必要

協調系幸福

- 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う
- 大切な人を幸せにしていると思う
- 平凡だが安定した日々を過ごしている

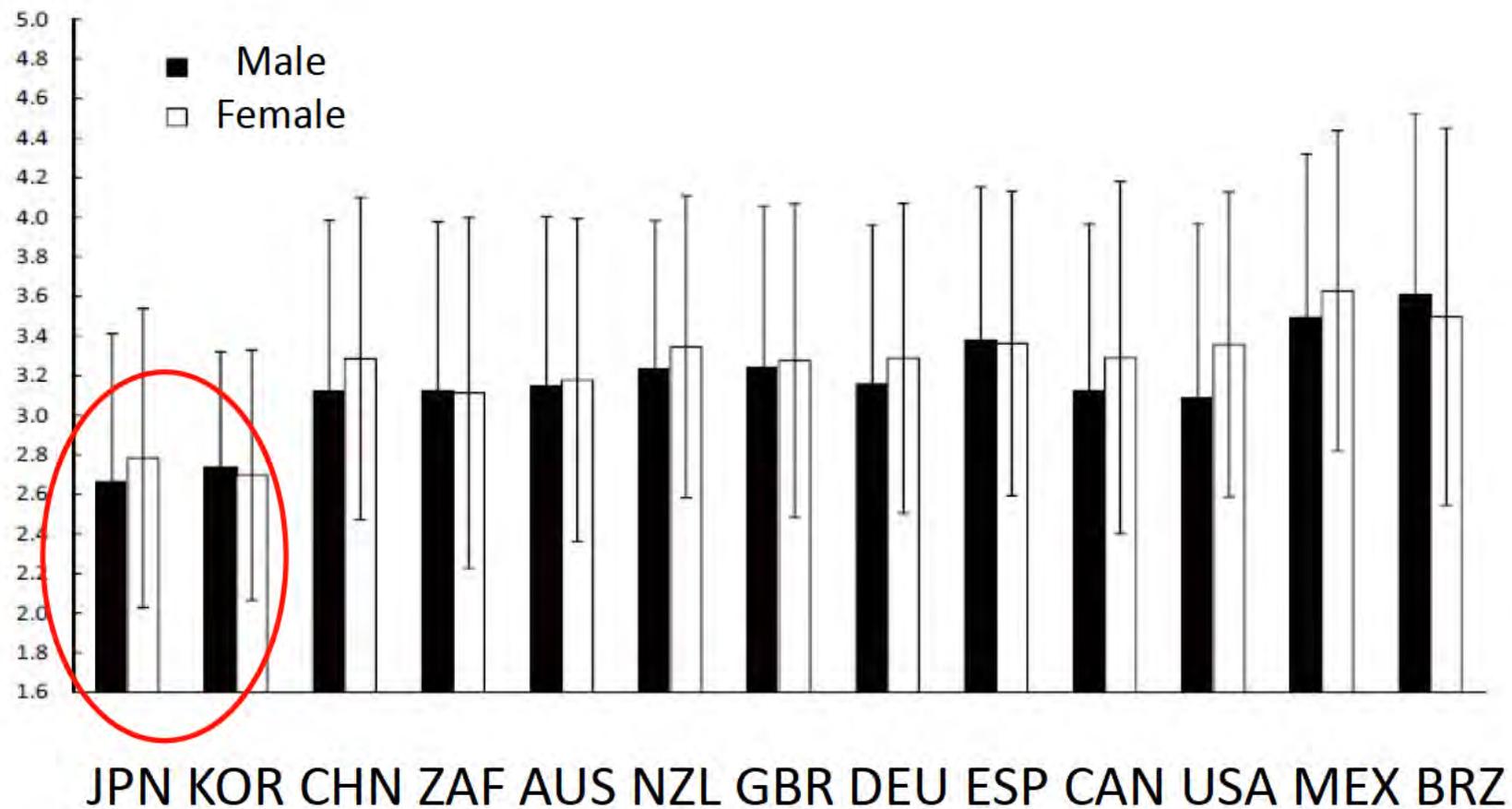
人並み・協調的幸福
(Hitokoto & Uchida, 2015)

獲得系幸福

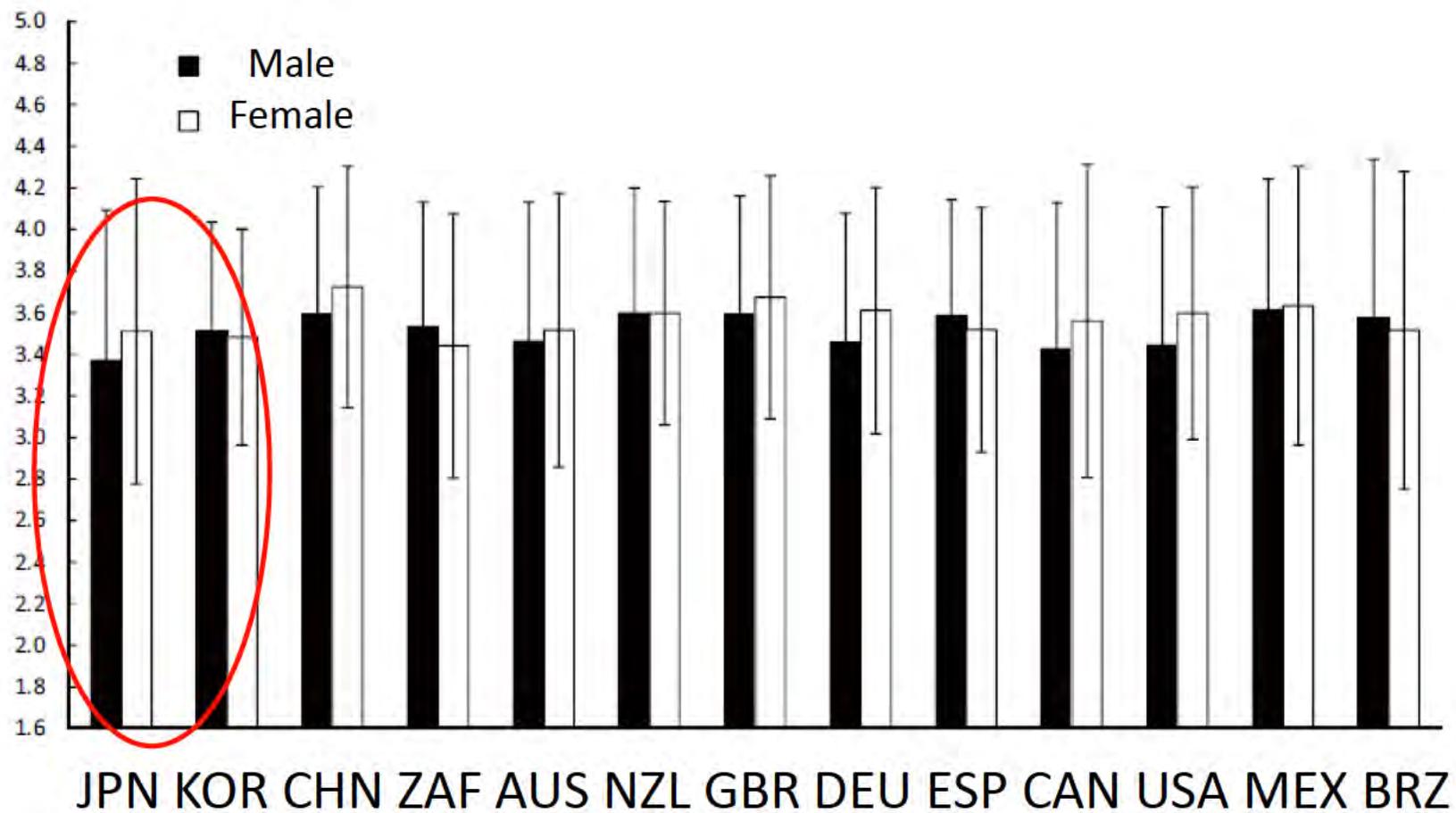
- 私の人生は、とてもすばらしい状態だ。
- 大体において、私の人生は理想に近いものである。
- これまで私は望んだものは手に入れてきた。

人生の満足感尺度
(Diener et al., 1985)

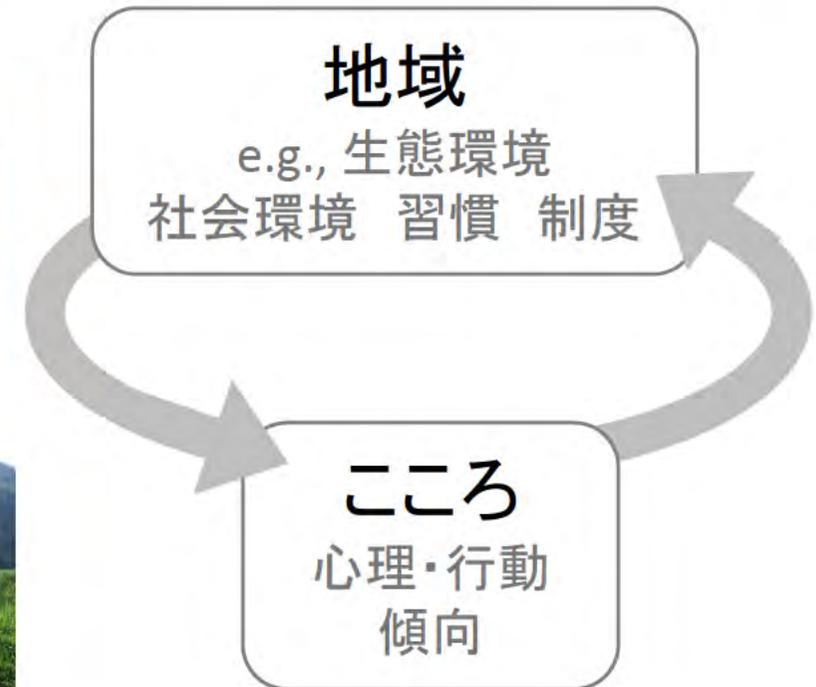
人生の満足感尺度



協調的幸福



地域のありかたと心の関係



人間の心理・行動傾向と、人が暮らす場所や社会環境は相互構成的

プロジェクトのねらい

- 地域の幸福・・・かつては経済状態・労働状況・人口動態で測定するしかなかった
→地域の格差の顕在化
- 心理指標については個別測定の平均値
→マクロとマイクロの総合的検討が困難

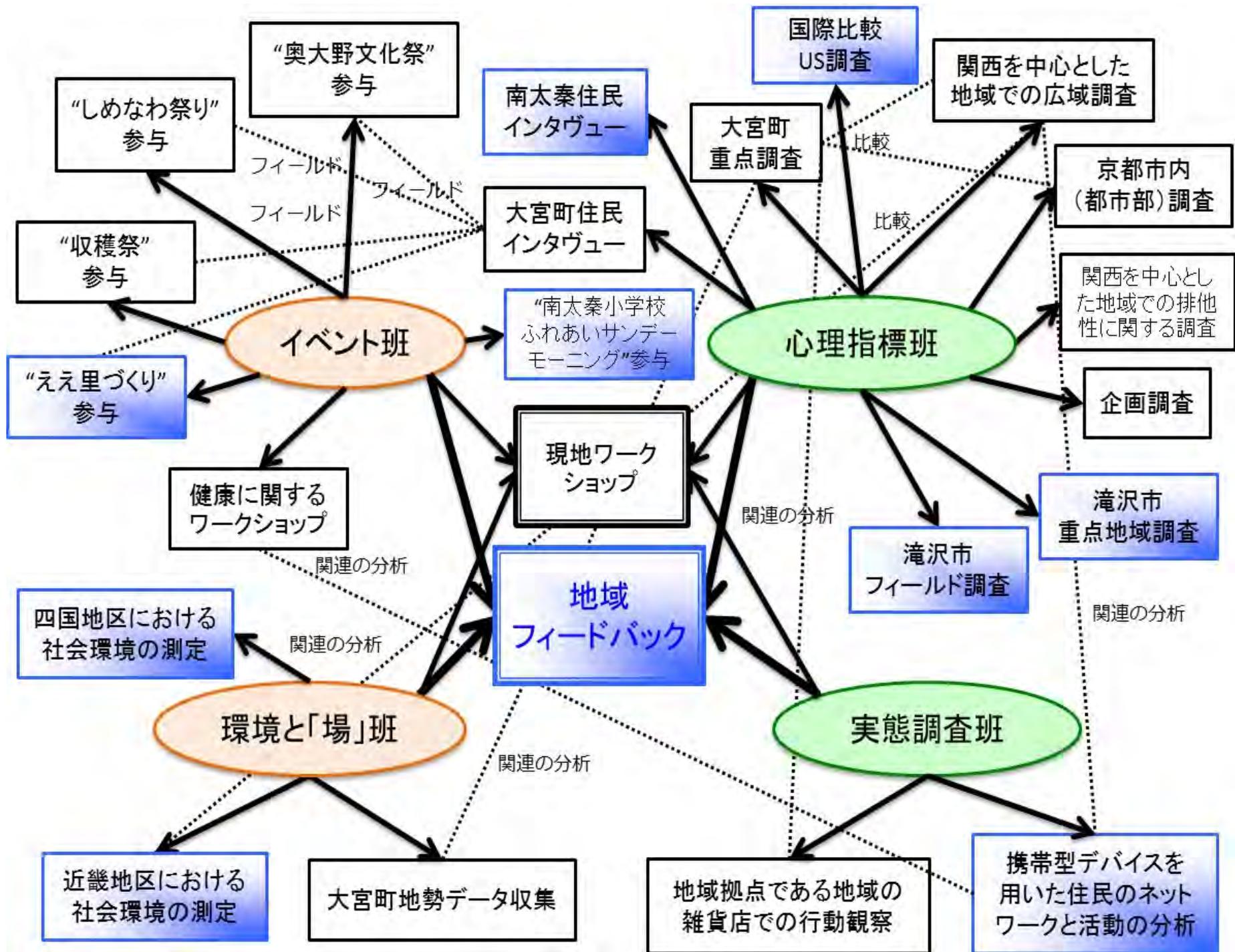
⇒幸福が地域内で伝播・循環するような仕組み
(not 競争モデル、but 共創モデル)を支える地域環境について検討し、**地域の豊かさ**を多面的・多次元的に評価できるツールを開発する

地域の豊かさの定義

- 多様な住民が地域外の他者とも連携
（開放性）
- 地域を守り育てる
（互助の風土）
- 持続的に地域の共有価値を育む
（共有価値の伝承）



→そこで暮らす「意味」「意義」「価値」を見つける



多様な測定ツール

大規模な 社会調査

- ・マルチレベル分析: 集落レベルでデータサンプリングを行い、これまでと異なる身近な生活単位での分析を実施することが可能

活動量・ネット ワークの計測

- ・ウェアラブルセンサーによる外出行動
- ・健康維持・促進行動
- ・対人相互作用



生理指標

- ・ストレス評価: 心拍変動
- ・唾液・血液中ストレス成分

環境変数

- ・住環境や地形などの生態学的データの収集



本プロジェクトのフィールド:

■京丹後市大宮町

- ・農村地域
- ・地域を変えたいという意欲
- ・多世代拠点の存在
- ・地域のつながり



■京都市右京区南太秦学区

- ・都市的地域
- ・住民の活動が盛ん
- ・学区というつながり
- ・多世代拠点としての小学校



■岩手県滝沢市

- ・都市～農村・酪農地域
- ・人口の増加
- ・伝統行事の保存を通じた多世代共創
- ・行政の幸福への取り組み



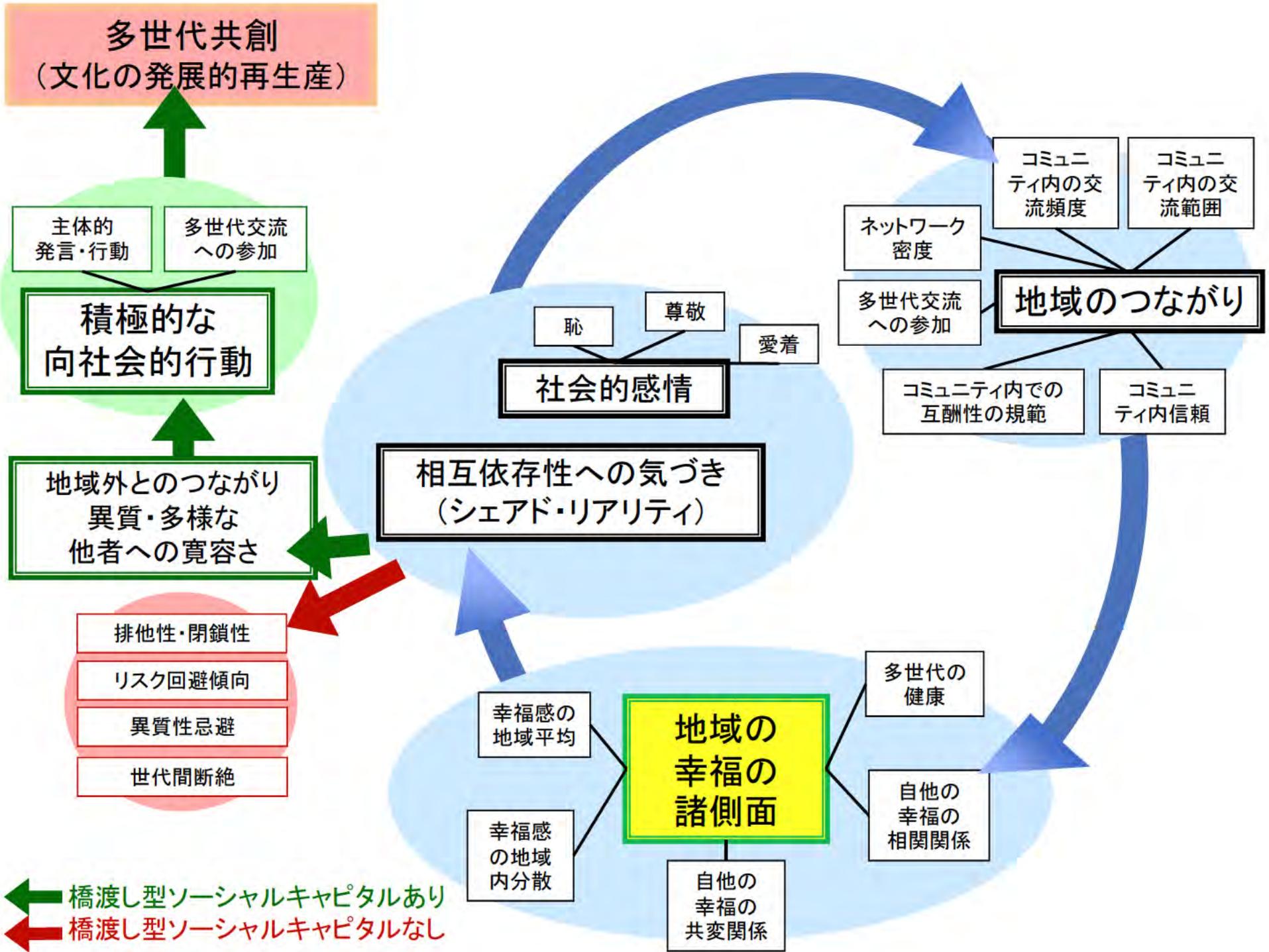
□指標開発とフィードバックの地域実践

□地区・集落という単位での分析

□住民の自主性

□産業との連携可能性

□多世代共創



多世代共創
(文化の発展的再生産)

主体的
発言・行動

多世代交流
への参加

**積極的な
向社会的行動**

地域外とのつながり
異質・多様な
他者への寛容さ

- 排他性・閉鎖性
- リスク回避傾向
- 異質性忌避
- 世代間断絶

恥

尊敬

愛着

社会的感情

相互依存性への気づき
(シェアド・リアリティ)

幸福度の
地域平均

幸福度の
地域内分散

**地域の
幸福の
諸側面**

多世代の
健康

自他の
幸福の
相関関係

自他の
幸福の
共変関係

ネットワーク
密度

多世代交流
への参加

地域のつながり

コミュニティ内の交
流頻度

コミュニティ内の交
流範囲

コミュニティ内での
互酬性の規範

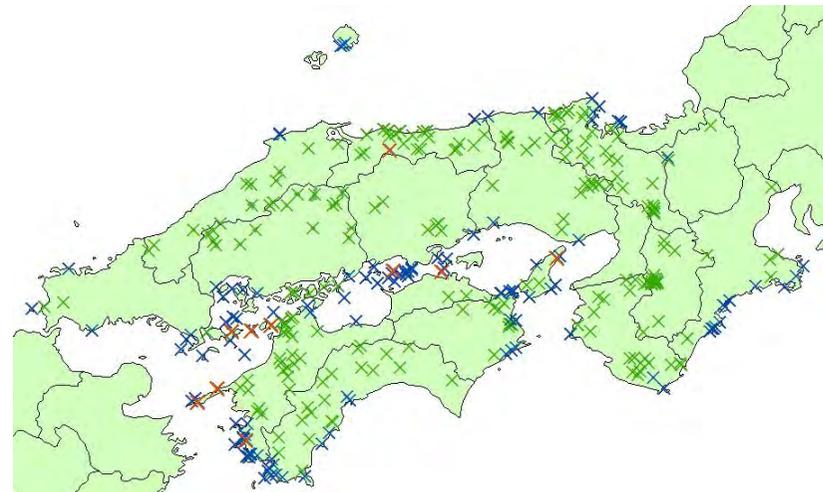
コミュニ
ティ内信頼

← 橋渡し型ソーシャルキャピタルあり

← 橋渡し型ソーシャルキャピタルなし

集落サンプリング調査(2016)

- 西日本540小地域(町)単位をサンプリングした調査を実施
- 2016年10月;配布地域540小地域;有効回収数N=6,452名
- 町レベルの分析の実施
(町の違いを検討)



集落サンプリング調査

測定項目

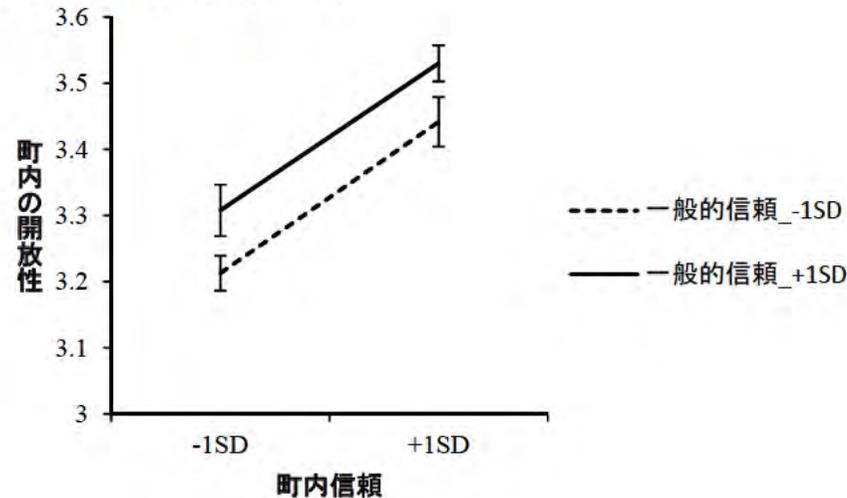
- **町内の開放性** 4項目 ($\alpha = .79$)
 - 私は町外(集落外)からやってきた人が町内(集落)に定着することは喜ばしいと思う
- **町内信頼** 2項目 ($\alpha=.79$; Spearman-Brown's $\rho=.80$)
 - 私は同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している
- **一般的信頼** 2項目 ($\alpha=.55$, Spearman-Brown's $\rho=.56$)
 - 私は見知らぬ他者であっても信頼する
- **町内への愛着** 1項目
 - 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている

重回帰分析

DV=開放性

IV=人口密度、町内信頼、一般的信頼、町内信頼x一般的信頼

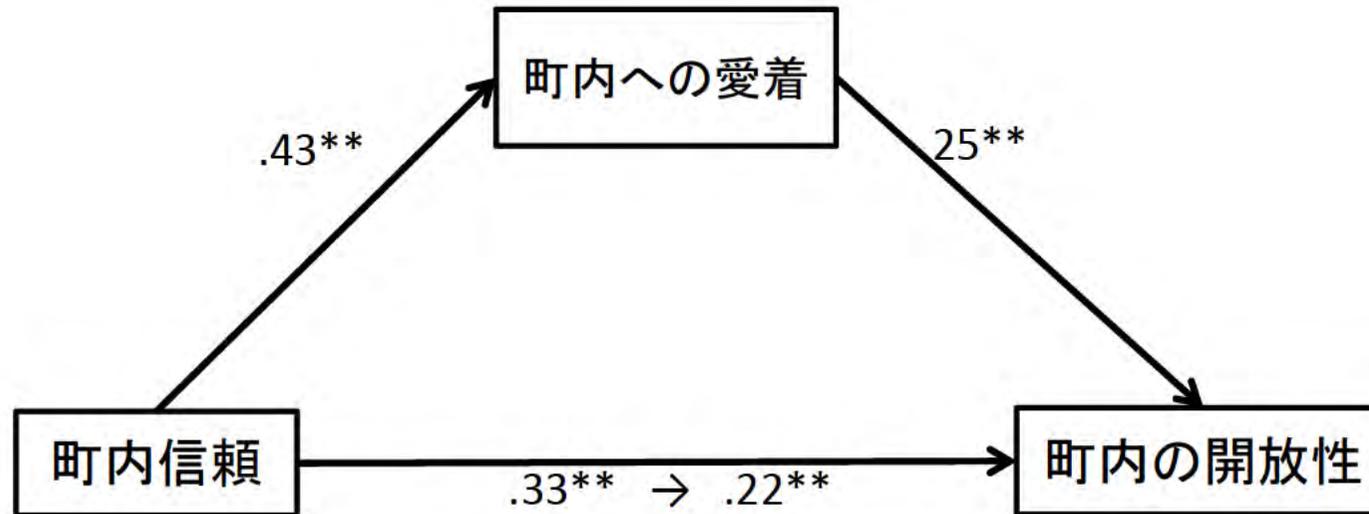
分析単位: 町



町内信頼 $\beta = .28, p < .01$
一般的信頼 $\beta = .11, p < .05$
交互作用 *ns*

- 町内の開放性(例:1ターン者などの受け入れの積極性)は、町内の信頼関係によっても支えられている
- 町内の信頼関係は排他性につながると考えられがちであるが、それに反する結果

媒介分析



- ブートストラップ法による間接効果の標準化係数=.11
($Z=3.95, p<.001, 95\%CI: 0.06-0.17$)

考察

- 町内信頼は開放性をもたらしている
- 町内の信頼関係が高いことにより、町内への愛着が高まり、そこを評価して移住してくる人についてもポジティブになる可能性
- 町内信頼→住民の健康というルートだけではなく、開放性や移住のスムーズさにもつながる
- 「町内信頼→排他性」というステレオタイプや不安を払しょくする必要性
- 今後の検討課題：実際に移住をした人における感情や認知の検証

行動調査(プレデータ)

研究代表者:

小森政嗣(大阪電気通信大学)

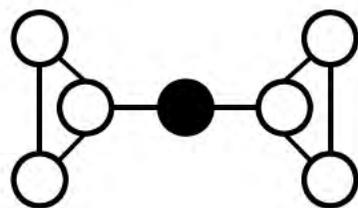
京丹後市大宮町「つねよし百貨店」

上・下常吉地区の住民(壮年期～高齢期)を対象に、交流拠点(つねよし百貨店)への来店を匿名で記録する携帯型デバイスを配布
来店記録により「すれ違い滞在時間」を計測、ネットワーク分析を実施

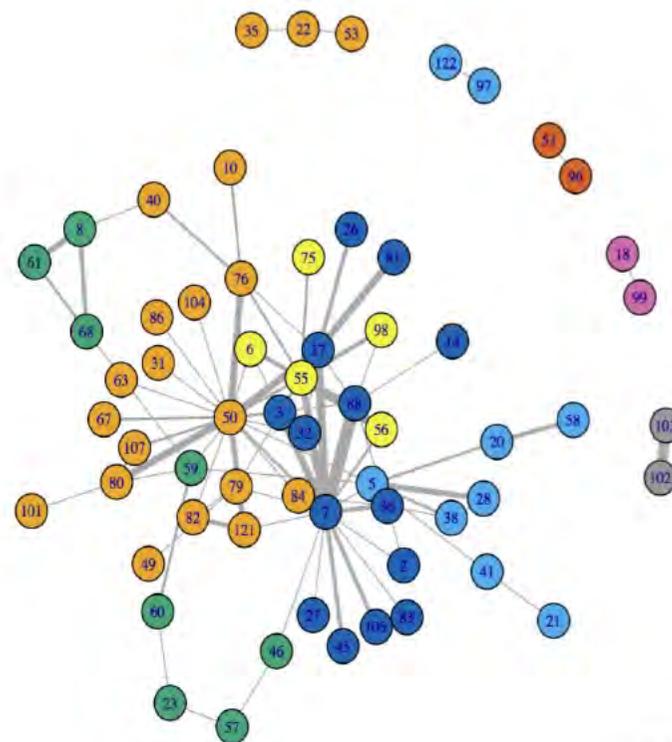


行動調査(プレデータ)

住民同士の間には存在するネットワーク関係と住民への質問紙調査のデータとの紐つけ分析を用いて、世代の異なる住民のネットワークと地域に対する心理的な態度との関係进行分析(探索段階)



人と人をつなぐ度合い(媒介中心性): その人がいることでネットワークの誰かと誰かがつながりやすくなる時、この得点が高くなる



「つながり」を活用する

- コミュニティにおけるつながり作り研究
- 普及指導員
 - 農業者に直に接して、農業技術の指導・経営相談・農業に関する情報提供などを行う都道府県の職員
- 連携作りに働きかける普及活動→地域内の信頼関係と生活レベルの向上

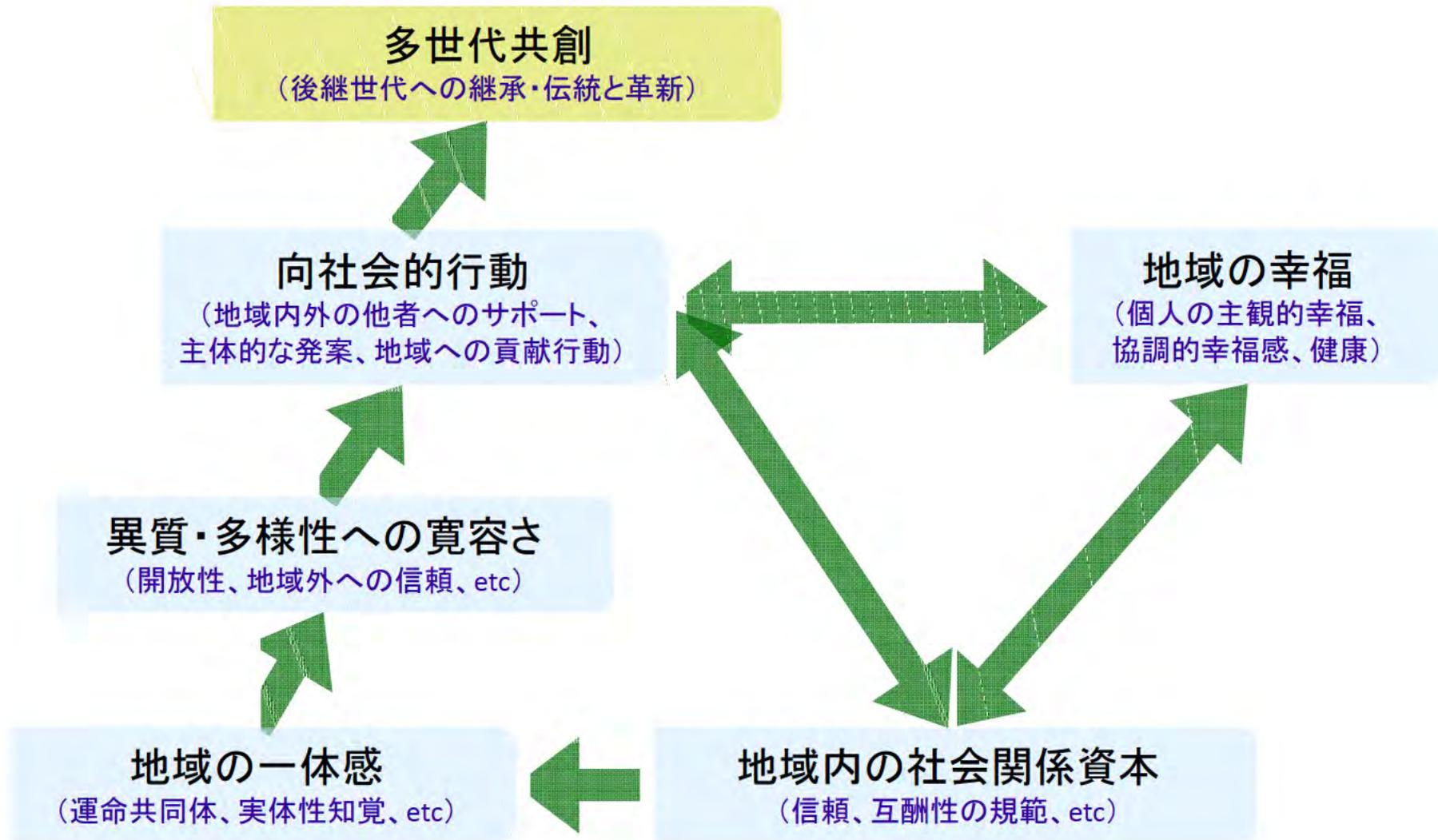


- ⇒つながりに働きかけるプロフェッショナルの重要性
- 企業や教育現場でも



これまで見えてきたことのまとめ

- 地域内の社会関係資本→地域の幸福・地域の寛容さ→多世代共創的な視点
- 地域の住環境(家の構えや自治会館のつくり、公共のスペースの整備され方)は集落ごとに大きな違い→こうした違いが心理面とも関連する
- 地域内と地域外のつながりが両立するという本研究の重要な成果→アメリカにおける調査においても見出された
- 岩手県滝沢市との包括連携協定の締結(平成30年1月29日)
- 京丹後市大宮南地域里力再生協議会との包括連携協定の締結(平成30年3月23日)
- 地域と個の幸福の測定を地域の自治体・自治会活動に活用することについての実装方法が定まりつつある



今後の展望

- 国際比較と発信
- 指標のリリースによる、公共政策への展開・援用
- 医療費等のアウトカム指標との連動

